

## 作物生理

講師名	及川 一	実務経験等	元高校教諭としての経験を活かし、作物生理に必要な基本的知識を習得し、その知識を応用するための講義を担当している。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・共通	必修	1	後期	30	2
使用教科書・副教材	自作テキスト					
授業の目的	作物生理に必要な基本的知識を習得し、その知識を応用できるようにする。					
授業の到達目標	作物生理に必要な基本的知識を習得する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
9月8日	成長制御の生化学	植物ホルモンの分子作用 光形態形成、屈性、器官離脱	4	講義	
10月6日	花芽形成	花芽形成のしくみ、繁殖系、自家不和合 種子の形成	4	講義	
10月20日	植物と水	水の移動、保水と気孔	2	講義	
	無機イオンの吸収	生体膜輸送、無機栄養素の取り込み 無機栄養素の機能	2	講義	
10月27日	繁殖系	種子の形成	4	講義	
11月24日	光合成	光合成色素と光の性質、光合成の主要反応	2	講義	
1月12日	光合成	C3植物、C4植物、CAM植物	4	講義	
2月2日	呼吸	呼吸のしくみ、炭水化物代謝	4	講義	
2月9日	呼吸	アミノ酸、脂質、多糖類、二次代謝産物	2	講義	
2月16日	呼吸	まとめ	2	講義	
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。  
評価割合: 筆記試験70%、平常点30%

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書、参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は自作テキストに沿って行いが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。